

20171129(WED)copy

過去の地震の被害

滋賀県が属する近畿地方は、古くより政治・文化の中心であったことから歴史的な文献・資料により、他の地域より長い期間においてこの地域で発生した数多くの地震とそれに伴う被害を知ることができます。

近畿地方およびその周辺で発生する地震は、南海トラフより近畿地方の下に沈み込むフィリピン海プレートとユーラシアプレートの境界付近で発生する地震と、ユーラシアプレート内で発生する深さ約20kmより浅い地震の2つの型に分けられています。

個々の地震に関する記述は、主として宇佐美龍夫著、『最新版日本被害地震総覧』(2003、東京大学出版会)を基に作成しました。

文治1年の地震(1185年M:7.4)

文治1年の地震は、滋賀県と京都府の府県境付近で発生しました。被害は京都で大きく建物の倒壊、死者が多数出ました。滋賀県では、比叡山で諸建物の倒壊や破損が大きく、三井寺にも被害がありました。琵琶湖では湖水が一時北流し水位が低下しました。

正中2年の地震(1325年M:6.5)

正中2年の地震は、滋賀県と福井県の県境付近で発生しました。この地震による滋賀県での被害は、琵琶湖の北方で山崩れが生じ、竹生島では寺院の奥ノ院が倒壊し湖水に没入、あるいは竹生島が崩壊し島の半分が湖水に没したとも言われています。この地震は滋賀県から福井県にのびる柳ヶ瀬断層で発生したと考えられています。

寛文2年の地震(1662年M:7.1/4~7.6)

この地震は、滋賀県において最大級の被害をもたらしたものとされています。
この地震は、三方断層帯及び花折断層帯北部の活動によるものと考えられています。また、琵琶湖西岸断層帯の一部が活動した可能性も指摘されています。

[上へ](#)

宝永地震(1707年M:8.4)

宝永の地震は、日本史上最大級の地震の一つと考えられています。この地震は駿河～南海トラフより沈み込むフィリピン海プレートと大陸のユーラシアプレートとの境界で発生し、震源は紀伊半島沖であると考えられています。

震源域は駿河～南海トラフに沿うほぼ全域にわたり、断層の長さの総和は600kmを超えるわれています。

地震動・津波等の被害は甚大で関東から九州におよび、静岡県から四国に至る地域で震度6、津波の高さは駿河～南海トラフ沿いの太平洋岸では5～10mであったとされています。滋賀県においては、大津、彦根で震度5から6と推定されます。

文政の地震(1819年M:7.1/4)

この地震は、滋賀県中東部で発生した地震と考えられていますが、既存の活断層との関係はよくわかっていません。なお、フィリピン海プレート内で発生した地震の可能性が指摘されています。

この地震での震度は、滋賀県のほぼ全域で震度5(水口・三重県桑名では震度6の可能性あり)と推定され、被害の方も滋賀県を中心に近畿・中部地方に及びました。

安政の大地震(1854年M:7.1/4)

この地震は、京都府、滋賀県、奈良県、三重県の府県境付近で発生し、木津川断層帯の活動によるものと考えられています。この地震で有感となった範囲は、中部地方から中国地方におよび震源近くの伊賀上野では震度6～7、奈良・大和郡山で震度6と推定されています。被害は甚大で死者1300名を数えました。

滋賀県内では、主に震源に近い県南部でこの地震の影響を受け、水口で震度6～7、大津、膳所で震度5～6、近江八幡で震度5と推定されています。

濃尾地震(1891年M:8.0)

この地震は日本の内陸で発生した地震の中で最大級といわれ、福井県から岐阜県および愛知県に延びる断層帯の活動によるものです。地震によって生じた断層は福井県今立郡池田町から岐阜県可児市付近に達し、総距離は80kmにもおよびました。主な断層運動は横ずれですが、岐阜県本巣市根尾では上下に最大約6mの食い違いが生じました。

滋賀県では震度6から5と推定されています。

江濃(姉川)地震(1909年M:6.8)

この地震は、滋賀県北東部の姉川付近を震源とし、滋賀県から福井県にのびる北北西走向の柳ヶ瀬断層の南端付近で発生しました。この地震によって東北地方南部から九州地方の一部にかけての広い範囲で有感となり、被害は滋賀県と岐阜県におよびました。震度は、滋賀県の震源付近で震度6、県内全域で震度4から5といわれています。被害は、滋賀県では死者35名、負傷者643名、家屋全壊2,192戸、家屋半壊5,985戸など大きなものでした。特に虎姫では死者17名、負傷者53名、全戸数991のうち全壊284戸、半壊518戸の被害がでました。

この地震では、伊吹山の一部が崩壊した、姉川の河口が湖中に没した、河口の琵琶湖で高さ1.8mの波が押し寄せた、三角洲で6個の穴から泥水が2.5m噴出したなどの地変が観測されています。